

【城南の1コマ】地区を代表する景観構成要素

ふるさと自慢〔住む人の声〕

人

新たな景観の創出とともに、現在の景観を再発見しようとする発想

歴史

伝統芸能を大切にする地域性

人の動き

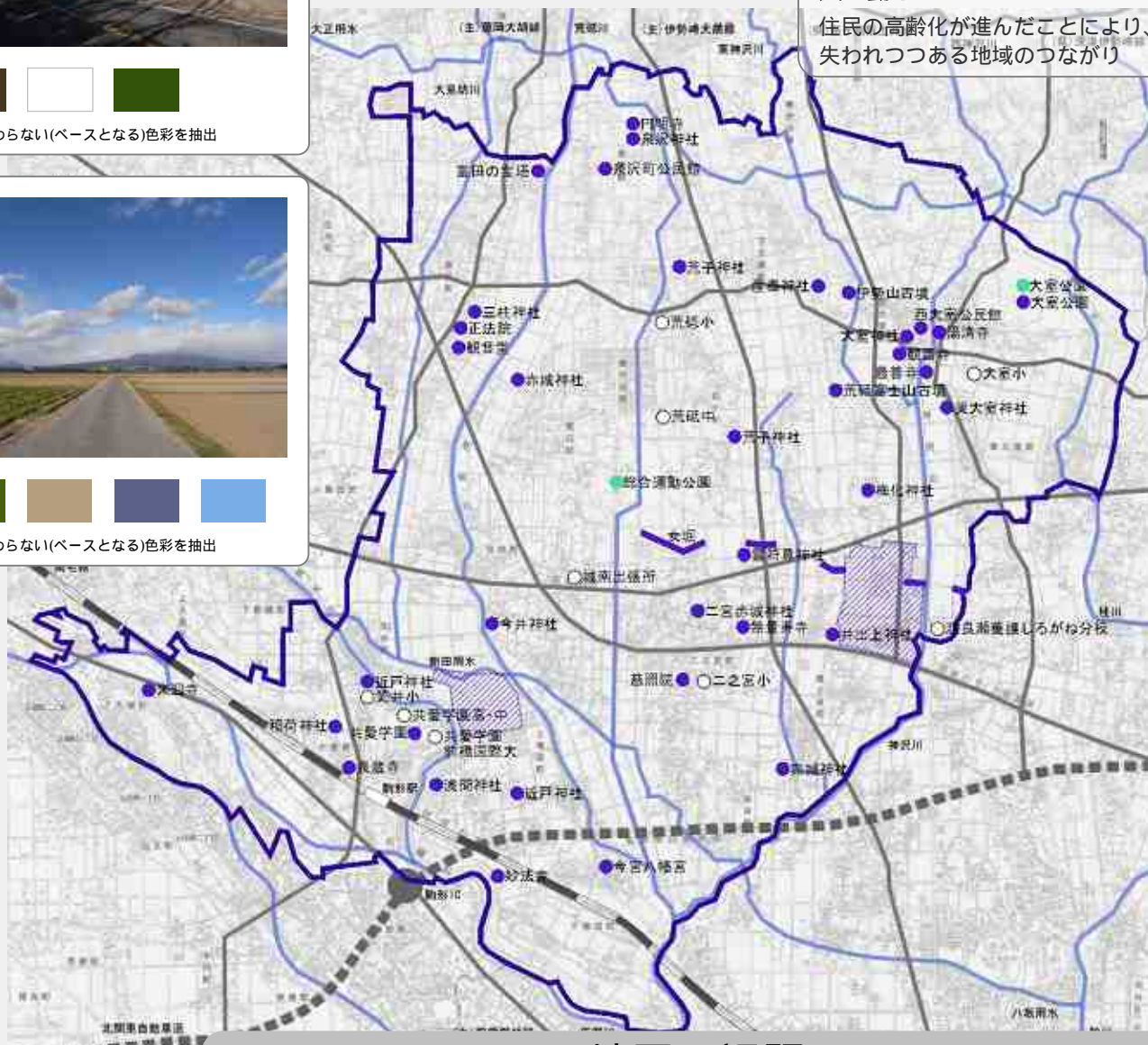
住民の高齢化が進んだことにより、失われつつある地域のつながり



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



変わらない(ベースとなる)色彩を抽出



地区の課題

景観にかかる課題1

赤城南麓の斜面から続く、緩やかな傾斜からなる水田地帯であり、田園の中に農村集落が点在する地区である。近年は工業団地開発や幹線道路などの基盤整備などが進み、地区が拓けてきているが、一方で緑が減少し一団の田園風景が失われつつあるなど問題も生じている。

体制にかかる課題1

古墳群や大室神社、泉沢神社、女堀のほか、二之宮赤城神社や産泰神社など、赤城山と関係する歴史的資産が豊富に残されており、観光資源としての活用も積極的に図られているが、一方で地域住民の地域の歴史的資源としての認識は低い。

体制にかかる課題2

伝統芸能は、郷土芸能保存会など地域住民によって積極的に受け継がれており、この結束力を地域の景観づくりにも広げていけるような取り組みが求められる。

景観形成重点地区候補地

大室公園周辺地区

景観形成のテーマ

公園に展開された歴史的空間を大切に

目標

歴史を伝えるふれあいの場所として整備がなされる公園の前衛部において、公園と一体となった歴史的空間の形成を図る

出典 / 前橋市景観形成モデル地区指定指針(成 11 年 3 月)



地区の方針

景観形成方針 1

赤城南麓の斜面から続く、緩やかな傾斜からなる地形の中で、荒砥川や桃ノ木川、寺沢川を大きな軸として広がる田園風景を守る。

景観形成方針 2

桃ノ木川や荒砥川の堤防や、地区に点在する大小の沼、それぞれから見える赤城山の眺めが、地域の子もたちの原風景となるよう、植樹活動などにより親しみやすい環境を育てる。

景観形成方針 3

国道 50 号、上武道路、(主)前橋館林線、(主)藤岡大胡線、(主)伊勢崎大胡線などの道路の沿道は、田園風景の広がり、桃ノ木川や荒砥川の眺めを阻害しないよう、建物や広告看板類の誘導に取り組む。

景観形成方針 4

工業団地は建物デザインへの配慮と緑化、住宅団地は庭先の緑化など、周辺と調和する環境整備に取り組む。また工業団地は、「工園」として公開し、新たな地域資源として積極的に活用する取り組みもみられ、このような取り組みを今後広げていく。

体制整備方針 1

地域の大人たちが子どもたちに、地域で受け継いでいくべき歴史的資源として、古墳群や大室神社、泉沢神社、女堀、二之宮赤城神社や産泰神社などについて教育する場をつくり出す。

体制整備方針 2

泉沢の獅子舞など伝統芸能への取り組みが盛んであり、これらが地域の景観づくりにも生かされるよう、勉強会などの要請があれば、積極的に支援する。